



ノハナショウブ (アヤメ科)

芝谷地といえばアヤメ。この湿原を代表する花ですが、今はまばらで、天然記念物指定当時の一面の大群落は見られなくなりました。

沼地や田の畦あぜに自生することから、大館周辺ではソトメとかソトメッコと、紺がすりを着て田植えをする早乙女に見立てた方言で呼んでいました。各地に似た呼び名があるようで、この花が古くから親しまれてきたことを物語っています。今は科名のアヤメで呼ぶ人が多くなりました。

この花は日本の特産種です。花期は6月中旬から7月中旬で、花の色は赤紫色の一角に安定。外側に垂れた花びらの付け根付近に小さな黄色の筋が入り、細めの葉の中央に太い葉脈が走るの、ほかのアヤメと区別できます。園芸種のいろいろなハナショウブは、このノハナショウブを改良したものです。

文・菅原キサ 写真・山田政一

編集後記

□広報の仕事をして約三カ月。毎日毎日ワープロとのにらめっこ? ときにはいま何月なのか、きょう何曜日なのか忘れてしまうこともあり(歳のせいかな)、また、原稿が集まらずにイライラすることもあります。(ま)

□いよいよ夏本番! 市民プールから子供たちの歓声が聞こえてくるようになりました。これからの土、日は子供たちを海に連れていくなど忙しくなりますが、二十三日の参院選には忘れずに一票を投じてください。(咲)

□これを書いてある時点では梅雨の最中。九州地方からは大雨の被害が伝えられています。冷夏になるとの予報もあり、ジメジメした空気に加えて肌寒さも気になるこのごろ。生ビールのおいしい季節が来るのはいつ?(ゆ)

☎ 広報おおだて 平成7年7月16日号(No.633)
発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地
☎ 0186-49-3111
編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

🌿 広報「おおだて」は再生紙を使用しています。